ぴあ 2022年度のご報告

2022.4.1-2023.3.31

～集客エンタテインメント市場も回復基調～

過去最高のチケット取扱高を記録

大型イベントも続々再開

当期利益も過去最高

3年ぶり 通期決算黒字化を達成

3ケ年中期経営計画を公表

更なる「変身」を加速

基幹事業の拡充と新規事業の育成・創出に注力

PIA FILM FESTIVAL 第4回「大島渚賞」山﨑樹一郎監督に決定

ぴあ総研

18 文化芸術・エンタテインメント・スポーツで心豊かな暮らしと社会を

第2回 シンポジウム開催

〝文化芸術・エンタメ・スポーツで、心豊かな暮らしと社会を〟

ぴあアリーナMM公演も ぴあ主催タイ俳優イベント大好評

三冠 書籍『ジェイソン流 お金の増やし方』オリコン・楽天・TSUTAYAで年間売上1位を達成

ホスピタリティ事業

（VIP向け高付加価値パッケージの企画・販売）に本格着手

PDHX PIA DAIMANI HOSPITALITY EXPERIENCE

2025年大阪・関西万博のチケット販売システム提供業務受託

グローバル事業続々拡大中

ぴあ株式会社

代表取締役社長
矢内（やない） 廣（ひろし）

ぴあを応援してくださる皆様へ

さらなる変身に向けて、勇気ある一歩を踏み出します。

2022年度決算についてのご報告

皆様には平素よりご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。コロナの感染防止と経済活動の両立が進むに伴い、集客エンタメ産業界においても、ドームやアリーナを巡る全国規模のライブツアーや海外アーティストの来日興行が復活し、プロスポーツでも国際大会等の大型イベントが続々と開催されるようになりました。市場の約8割が失われる危機的状況を経て、ようやくその長いトンネルの出口が見えてきたことを実感しております。また、時を同じくして、昨年7月10日には当社創業50周年の節目を迎え、11月には、これまでの皆様からのご支援に対する感謝の思いを直接お伝えするため、「ぴあアリーナMM」において、感謝イベントを開催しました。会場には多くの皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。この記念すべき年度の決算を、3年ぶりの黒字で迎えられたことも嬉しい成果でした。これもひとえに、コロナ禍の逆境においてもぴあを応援し続けてくださった皆様のお陰と、心より御礼申し上げます。

「変身」を加速させる中期経営計画を策定

このピンチをむしろチャンスと捉え、「変身」をテーマに事業構造の変革に取り組んだ2022年度は、集客エンタメ市場の回復に加え、公演数の増加やチケット単価の上昇なども追い風となり、過去最高のチケット取扱高を記録いたしました。大規模音楽フェス「METROCK」や、「神宮外苑花火大会」などの当社主催事業も再開し、「ぴあアリーナMM」の稼働率も復調しました。出版においても前期のヒット商品が引き続き好調を維持するなど、苦境を乗り越えた基幹事業群には明るい兆しが見えています。一方で、コロナ禍下の2期連続の最終損益赤字による累損の解消までには至っておらず、残念ながら配当については今期も無配とさせていただかざるをえないことを、誠に遺憾に思っております。これを機に、基幹事業を拡充し、新規事業の育成及び創出に注力することを基軸とした、3ヶ年の中期経営計画を発表いたしました。構造改革をさらに推進し、最終年となる2025年度には、2023年度水準から約倍増となる25億円の営業利益を目指すとともに、なんとしても計画期間中の累損の一掃と復配を実現させたいと考えております。

新事業で集客エンタメ業界の活性化を

中期経営計画の実現に向けては、コロナ禍で取り組んできた新事業の成長が鍵となりますが、その一つとして「ホスピタリティ事業」に本格的に参入しました。スポーツ、コンサート、イベントなどの開催にあたり、トップカテゴリーのチケットに、クオリティの高い飲食やギフト、VIPルームや専用ラウンジ、バッ

2022年度の主な活動

4月

- 「第43回ぴあフィルムフェスティバル」グランプリ作品「ばちらぬん」（東盛あいか監督）が劇場公開
- ぴあ総研初のシンポジウム「集客エンタメ産業による日本再生の意義」開催
- ぴあMOOK『アゲアゲめし公式ガイドブック』第8回沖縄書店大賞 沖縄部門準大賞を受賞
- バーチャルライブプラットフォーム「NeoMe」スタート

5月

- 三菱地所との合弁会社「MEC ぴあクリエイティブ（株）」を設立

- 「METROCK2022」（大阪・東京）を主催

6月

- 「JAPAN RUGBY LEAGUE ONE」の「オフィシャルファンマーケティングパートナー」契約を締結
- 第49回定時株主総会を開催。オンライン配信も実施

- ぴあMOOK『スゴイ！公園本 東海版』重版

7月

- ぴあ創業50周年特設サイトをオープン、記念ムービーを公開

- 「ぴあ50th Anniversary MUSIC COMPLEX SPECIAL EDITION」（横浜）を主催
- 「ぴあ50th Anniversary MTV LIVE MATCH 2022.07.10」（横浜）を主催

8月

- 「2022神宮外苑花火大会」を主催
- 「GMMTV FAN FEST 2022 LIVE IN JAPAN」（横浜）を主催

9月

- 「第44回ぴあフィルムフェスティバル」を開催
- ぴあの初プロデュースXR LIVE「SiM XR LiVE」全世界配信
- 浅田真央アイスショー「BEYOND」全国ツアー（全国17会場・約70公演）を主催
- スマホアプリ「ユニタビ」サービス開始。観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」に参画

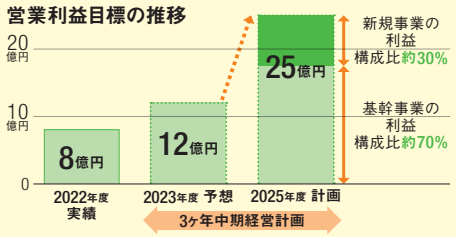
クヤード招待等の特典を組み合わせた、“VIP向け高付加価値体験パッケージ”を企画・販売するサービスです。すでに広く普及している欧米で、このホスピタリティ事業を主導的に展開している、スイスのDAIMANI社と昨年末に業務資本提携を締結し、今後、日本やアジアでの市場の掘り起こしと顧客の拡大を進める予定です。

同時に、2025年の「大阪・関西万博」をはじめとする国際イベントのチケッティング業務を受託する「グローバル・イベント事業」、朝日新聞社の資本参加で新発足したぴあ朝日ネクストスコープ（PANX）を中心に取り組む「デジタルメディア・データマーケティング事業」のほか、最新のXR技術を活用したコンテンツの創出や、メタバース空間におけるアーティストの発掘など、新規事業群の育成、創出によって、当社グループの利益の最大化に努めてまいります。

集客エンタメはサステナビリティの源泉

2011年の東日本大震災直後より復興支援活動をスタートし、のちに一般社団法人化されたチームスマイルは、昨年をもって、その11年間の活動を終了しました。活動拠点であった豊洲・仙台・いわき・釜石の4つのホール「PIT」は、そのままの名称で今後も運営されることが決まり、「豊洲PIT」と「仙台PIT」については当社の所有となりました。当社が主体となり、エンタテインメントには被災地の方々を元気づけ、若者の夢を後押しする確かな力があるはずだ、と信じて続けてきた取り組みですが、活動拠点と経済基盤を整えることで、継続的な支援を実現することができました。実は、SDGsの17項目には、エンタテインメントに関する目標が直接的に語られていません。ぴあグループではその18番目の目標として"Making Life and Society rich with Art, Culture, Entertainment and Sports."（～文化芸術・エンタテインメント・スポーツで、心豊かな暮らしと社会を～）を掲げ、ひとりひとりが生き生きとした毎日の実現のために、文化的活動の強化と支援を提言してきました。世界中の多様な文化芸術やエンタテインメントは、まさにサステナビリティの源泉でもあると考えています。当社シンクタンクのぴあ総研では「文化芸術・集客エンタメは、人々と社会をどう豊かにできるのか」をテーマに、昨年に引き続きシンポジウムを開催しました。文化庁の都倉俊一長官、脳科学者の茂木健一郎氏の基調講演に続き、集客エンタメ業界を牽引する方々にご登壇いただき、“18番目の目標”についての熱いディスカッションが行われました。エンタテインメントは人々の生活にとって必要不可欠なものである、と信じて、ぴあグループは次なる50年に向けて歩みを続けてまいる所存です。これからも引き続き、温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

中期経営計画（2023~2025年度）の骨子



さらなる“変身”を加速させるべく、現在の事業を拡充しつつ、新規事業の創出にも注力することを軸とした、3ヶ年の中期経営計画を策定しました。

基幹事業群（チケット流通を中核としたバリューチェーン事業）の収益基盤の強化により、コロナ禍で生じた累損の解消、および中期経営計画期間中での復配の実現を目指すとともに、チケット流通に次ぐ事業の柱となりうる「グローバル・イベント（万博等の国際イベントのチケッティング業務）」、「DMS（デジタルメディアサービス事業）」、「ホスピタリティ事業（VIP向け高付加価値体験パッケージの販売）」等の新たな事業群の育成により、持続的成長が可能な事業構造を構築します。

その他の新規事業の創出と構造改革を重ね、中期経営計画の最終年度（2025年度）の営業利益は、2023年度から約倍増の25億円の水準を目指します。この時には、基幹事業約7割、新規事業約3割の利益構成を想定し、2025年度中には累損の解消を見込んでいます。

■チケット流通事業 ■コンテンツ事業 ■ソリューション事業 ■会場事業 ■メディア&プロモーション事業 ■社会貢献・CSR活動 ■IR活動

10月

■■ぴあネクストスコープ（株）に朝日新聞社が出資参画、「ぴあ朝日ネクストスコープ（株）（PANX）」に改称

■■「浦和レッズ×パンのフェス2022 IN 埼玉スタジアム2002」を開催

■■「ぴあ50th Anniversary PIA MUSIC COMPLEX2022 -ぴあフェス-」（東京）を主催

■■「ぴあ50th Anniversary ぴあ演劇学校 2022年秋期特別講座」（東京）を主催

11月

■ぴあアリーナMMにて創業50周年記念感謝イベントを開催

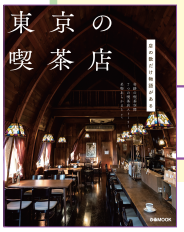
■ぴあ刊『羽生結弦語録Ⅱ』重版、『羽生結弦語録』6刷実施

12月

■スイス・DAIMANI社への出資・業務提携により、ホスピタリティ事業に参入

■東日本大震災復興支援活動「チームスマイル」活動終了

■矢内廣初の自伝『岩は、動く。』発行



■ぴあMOOK『東京の喫茶店』3刷実施

1月

■■「ふわふわアドベンチャーinみなとみらい」（横浜）を主催

■■国税庁主管の日本酒イベント「KANPAI to MEET」（東京）を開催

2月

■「第4回大島渚賞」発表

■■「YOKOHAMA MUSIC HARBOR 2022 CHRISTMAS」（神奈川）を企画総合プロデュース

3月

■■「パンのフェス 2023 春 in 横浜赤レンガ」を開催

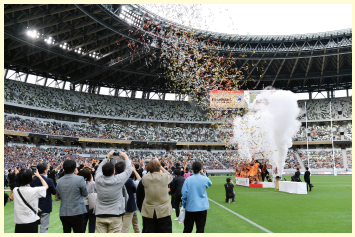
Designed by SwimmyDesignLab

～グローバル事業を強化～

ホスピタリティ事業への参入

ぴあは、日本・アジアの集客エンタメ業界におけるホスピタリティ文化の創出事業に参入します。欧米でVIP向けに広く事業を展開する、スイス・DAIMANI社と業務資本提携を結び、今年2月「PIA DAIMANI Hospitality Experience株式会社（PDHX）」を設立しました。グローバル基準で「VIP向け高付加価値体験パッケージ」を企画・販売し、業界を支える新事業に育て、集客エンタメ業界の活性化とユーザーの拡大を目指します。

去る5月20日に開催された「NTTジャパンラグビー リーグワン 2022-23 プレーオフトーナメント 決勝」では、当事業の初商品を発売。観戦チケットに加え、VIPラウンジでの飲食、オリジナルPASSの発行や選手によるミニトークショー、ラウンジへの選手訪問、試合終了後のピッチ見学など、特別な観戦体験を演出する特典プランを各種ご提供しました。



ホスピタリティ事業とは

スポーツ、コンサートなどの開催に際し、VIPルーム等のトップカテゴリーのチケットに、クオリティの高い飲食やギフト、サービスの提供を組み合わせた商品のことを指し、ぴあはこの商品の企画・販売・会場運営を行います。欧米ではすでに広く普及しており、日本でもラグビーW杯2019などにおいて実施されました。単なる富裕層向けでない「お客様の体験価値を上げる事業」として、世界で急速に成長しています。

国際大会、国際イベントのチケッティング業務への取り組み

2022年度は、「ラグビーW杯」や「東京2020オリンピック・パラリンピック」の経験を活かした新組織がスタートしました。この組織では、2025年に大阪で開催される日本国際博覧会（大阪・関西万博）の入場券販売関連システムサービスの提供業務を受託するなど、主に国際イベントのチケッティング業務を担うことで海外展開の強化を図ります。

©Expo 2025

タイ俳優による主催イベントが好調

タイドラマ旋風を巻き起こした「2gether」の主演俳優、BrightとWinによるオンライン・ファンミーティングの主催（2021年）を皮切りに、昨年度もぴあアリーナMMで「GMMTV FAN FEST 2022 LIVE IN JAPAN」（2022年8月）、「Shooting Star Asia Tour in JAPAN」（2023年3月）などを主催。毎回ほぼ完売となる人気ぶりで、今後も数多くの当社主催イベントが予定されています。

“変身”に向け、新事業も本格化

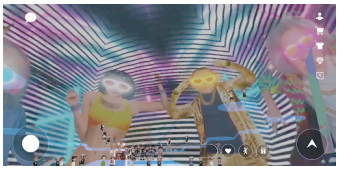
データマーケティングサービス事業

昨年10月より新体制となったぴあ朝日ネクストスコープ（PANX）社を中心に、ぴあのDMP（PIA DMP）と朝日新聞社のDMP（A-TANK）を活用し、広告配信をメインとしたマーケティング事業や、「チケットぴあ」サイトにおける広告事業などを展開中。多種多様なデータセグメントとメディアを活用したマーケティング力と営業力を強みに、独自の価値を生み出し、事業の拡大を目指します。

PIA ASAHI Next Scope

バーチャルステージでライブを楽しむアプリ「NeoMe」（ネオミー）

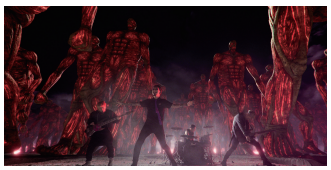
「NeoMe」は、アバターとなってみんなで跳んで踊ったり、スタンプや特殊効果を使って会場を盛り上げながらライブを楽しむことのできるアプリです。仮想空間での演出を、まるで会場にいるかのように体験できる人気アーティストのライブや、若手パフォーマーがアバターを介してファンと交流できる応援企画など、メタバースならではのイベントを数多く展開しています。



360度で迫る、バンド「ヤバイTシャツ屋さん」のライブ映像

最先端のXRコンテンツ専用スタジオを開設

昨年9月に全世界に配信されたSiMによるオンライン限定ライブ「SiM XR LiVE」では、「進撃の巨人」のオープニング曲も披露されました。これを皮切りに、海外へのコンテンツ提供を前提とした「XR LIVE」のビジネスモデルの確立を目指します。



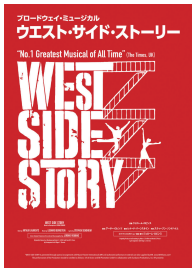
SiM「The Rumbling」ミュージックビデオより。現実空間と仮想空間を融合したクロスリアリティ（XR）関連の技術が駆使されています

これから開催予定のぴあ主催（共催）イベント

ぴあフェス（PIA MUSIC COMPLEX）2023
2023/9/30・10/1
●東京・新木場 若洲公園

2023 神宮外苑花火大会
2023/8/12
●東京・明治神宮外苑

浅田真央アイスショー「BEYOND The Final」千秋楽公演
2023/7/1～17
●東京・アリーナ立川立飛



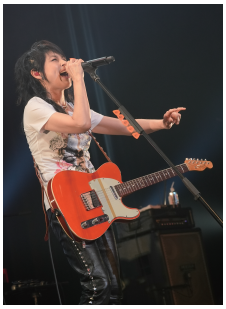
ブロードウェイ・ミュージカル「ウエスト・サイド・ストーリー」
2023/7/5～8/6
●東京・東急シアターオーブほか

SWAN LAKE ON WATER ～ついに、ほんとうの水を得た『白鳥の湖』
2023/8/10～13
●東京・東国際フォーラム・ホールA

～持続可能な社会に向けて～

「チームスマイル」は、2022年末をもって全ての活動を終了

2011年3月の東日本大震災の直後より、エンタテインメントを通じた心の復興支援を続けるために、当社内のボランティア活動からスタートした「チームスマイル」は、その後一般社団法人化されましたが震災から12年目となる2022年末をもって全ての活動を終了しました。



昨秋のいわき・釜石両PITに続き、去る3月11日に仙台PIT、3月15日には豊洲PITで、感謝の気持ちを地元の方々に直接お伝えするため、感謝の会を実施しました。仙台PITの建設にあたり復活コンサートの収益金から約3億円もの寄付をしてくださった「プリンセス プリンセス」より岸谷香さんが参加、地元の皆様に数々の名曲を楽しんでいただきました。4つのPITは名称もそのままに今後も存続し、豊洲PITと仙台PITは、当社が運営を継承します。

岸谷香さん（撮影：吉岡希鼓斗）

集客エンタメ産業をSDGs18番目の目標に

ぴあ総研では、コロナ禍で壊滅的なダメージを受けた集客エンタメ市場について、2023年にはコロナ前を上回る水準にまで復活するものと予測をしています。同時に、一時は不要不急と言われた文化芸術・ 集客エンタメについて、むしろ世界の多様な文化芸術・集客エンタメの共存・共生こそが、サステナビリティの根源をなすと考え、去る5月31日にぴあ総研主催による第2回目のシンポジウムを開催しました。基調講演は都倉俊一氏（文化庁長官）と茂木健一郎氏（脳科学者）、パネルディスカッションには堀義貴氏（ホリプログループ会長）、村井満氏（日本プロサッカーリーグ 前チェアマン）、北川フラム氏（アートディレクター）、里中満智子氏（マンガ家、大阪芸術大学教授）、野村萬斎氏（狂言師）が登壇。文化芸術・エンタテインメント・スポーツは人々や社会をどのように豊かにできるか、SDGsの18番目の目標になりうるのかというテーマで多くの提言がなされました。

映画の新しい才能を〈発見〉する「PFFアワード」、〈育成〉する「PFFスカラシップ」、そして、才能をさらに世界へ〈飛躍〉させる「大島渚賞」

本年度もPFF主催の「第44回ぴあフィルムフェスティバル」が開催され、「PFFアワード」では、520本の応募作の中から、河野宏紀監督の「J005311」がグランプリを受賞しました。加えて、PFFが製作から劇場公開までをプロデュースする「PFFスカラシップ」では、第26回作品「すべての夜を思いだす」（清原惟監督）が、ベルリン映画祭に正式出品、北京国際映画祭・新人コンペ部門では審査員特別表彰を受け、第27回作品「裸足で鳴らしてみせろ」（工藤梨穂監督）は、ジョグジャNETPACアジアン映画祭でNETPAC賞を受賞しました。また、映画の未来を拓き、世界へ羽ばたこうとする、若くて新しい才能に対して贈られる「大島渚賞」は、クラウドファンディングで資金を集め、16ミリフィルムで撮影に挑んだほか、主演に韓国人俳優を起用し、フランスの製作会社と共同製作を行った国際色豊かな作品「やまぶき」の山﨑樹一郎監督が、第4回の受賞者に決まりました。

第44回ぴあフィルムフェスティバル「PFFアワード2022」表彰式

第4回大島渚賞を受賞した山﨑樹一郎監督

「第1回大島渚賞」（2020年）授賞式でスピーチする故・坂本龍一審査員長

ぴあの最新MOOK&書籍

「オリコン」「楽天ブックス」「TSUTAYA」で年間売上1位の3冠を達成した『ジェイソン流 お金の増やし方』、大谷選手の言葉を集めた『不可能を可能にする大谷翔平120の思考』をはじめ、様々なジャンルで話題の書籍・MOOKを多数刊行。

イラストでわかる
日本の神さま
［12月発売］

美術展ぴあ 2023
［12月発売］

2023年こそ貯める！
お金の増やし方
［12月発売］

あんこの本
～名古屋・愛知・岐阜・三重～
［1月発売］

ケンドーコバヤシのたまらない店
20周年SPECIAL
［2月発売］

ぴあMUSIC COMPLEX
（PMC）Vol.27
［3月発売］

ジェイソン流
お金の増やし方

不可能を可能にする大谷翔平120の思考

ぴあの決算ハイライト

［単位：百万円］	2021年度	2022年度	2023年度（予想）
売上高	25,829	32,763	33,000
取扱高※	121,865	199,142	-
営業利益	△833	820	1,200
経常利益	△845	600	1,000
当期利益	△1,122	1,415	900
1株当たりの配当金	0円	0円	-

※取扱高：旧会計基準の売上高

当社グループの連結業績は、コロナ禍の収束に伴い明らかに復調し、特に、下半期は、エンタメ活動への反動消費もあり、音楽公演の全国ツアーや大規模フェス、プロスポーツの国際大会等の大型案件が続々と開催されました。市場回復に加え、公演規模の拡大、単価の上昇等によりチケット販売も好調でした。また、「ぴあアリーナMM」の稼働率も復調し、出版商品の好調も併せ、旧基準での売上高は2,000億円規模となり、過去最高だった2018年度の1,799億69百万円を上回る高水準となりました。当期は創業50周年を記念した全国各地の主催イベントの開催費用や、チケット販売の回復による各種費用も増加しましたが、最終損益は、営業、経常、当期各損益とも、2022年11月10日に公表済みの業績予想通りに着地し、当期利益は、特別利益等もあり、過去最高を計上しました。

当社財務情報はホームページでもご覧いただけます。 https://corporate.pia.jp/ir/

会社情報（2023年3月31日現在）

会社概要

商号	ぴあ株式会社（PIA Corporation）
本店所在地	東京都渋谷区東1-2-20 渋谷ファーストタワー
設立	1974年12月
資本金	5,962百万円
社員数（連結）	331名
事業内容	音楽・スポーツ・演劇・映画・各種イベント等のチケット販売、コンサートやイベントの企画・制作・運営、スポーツ団体・劇団・ホールなどへの各種ソリューションサービスの提供、ぴあアリーナMMなどホール・劇場の企画・運営、エンタテインメント・レジャー領域を中心としたネットメディアや出版物の企画・編集など、エンタテインメント全般に付随する各種事業

役員

代表取締役社長	矢内 廣
取締役副社長	木本 敬巳
専務取締役	吉澤 保幸
常務取締役	村上 元春
取締役	小林 覚
取締役	東出 隆幸
取締役	川端 俊宏
取締役（社外）	宮本 暢子
取締役（社外）	一條 和生
取締役（社外）	宮地 信幸
取締役（社外）	石田 宏樹
取締役（社外）	村井 満
取締役（社外）	佐藤 則之
常勤監査役（社外）	能勢 正幸
監査役（社外）	松田 政行
監査役（社外）	宮地 悟史
監査役（社外）	糸谷 祥輝

（※役員構成は第50回定時株主総会決議後の6月17日時点の情報を掲載しています。）

主要グループ会社

チケットぴあ名古屋株式会社
チケットぴあ九州株式会社
ぴあ総合研究所株式会社
ぴあグローバルエンタテインメント株式会社
ぴあフィールドサービス株式会社
株式会社東京音協
MECぴあクリエイティブ株式会社
ぴあ朝日ネクストスコープ株式会社
PIA DAIMANI Hospitality Experience株式会社

株式の状況

発行済株式総数	15,358,813株
株主数	26,989名

主な株主

株主名	持株比率（%）
矢内 廣	19.86
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	9.18
KDDI株式会社	9.12
凸版印刷株式会社	7.08
きらぼしキャピタル東京 Sparkle 投資事業有限責任組合	5.32
株式会社セブン&アイ・ネットメディア	4.59
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	4.59
三菱地所株式会社	4.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3.64
矢内アセットマネジメント株式会社	1.30

株式メモ

上場取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	4337
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
配当受領株主確定日	毎年3月31日（中間配当を実施するときの株主確定日は、9月30日です）
公告方法	電子公告〈URL〉https://corporate.pia.jp/ir/（ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞にて行います）
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合せ先	TEL.0120-782-031
インターネットホームページ	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株主優待のご案内

株主優待制度について

2023年3月31日現在の株主の皆様に対し、以下の通り株主優待を実施しています。

1.優待品目

1. オリジナル図書カード、オリジナルシネマギフトカードから、下記優待金額（年2,500～11,000円）の範囲内で自由に組み合わせて事前に選択していただくことができます。
2. アプリ　［有料コンテンツの利用］

ぴあ 年6,000円分

2023年3月31日時点で2期継続、100株以上を保有していただいている株主の皆様は、通常年間6,000円がかかる「ぴあ」（アプリ）の有料コンテンツを1年間無償でご利用いただけます。詳しくは、対象となる株主様に別途送付されるお知らせをご覧ください。

2.優待区分

保有株式数 ＼ 保有期間	2期未満（1年未満）保有	2期以上（1年超）継続保有	
	優待	優待	アプリ
1,000株以上	5,500円分	11,000円分	ぴあ 年6,000円分
100株以上	2,500円分	5,000円分	ぴあ 年6,000円分

「ぴあ」（アプリ）は機能の拡充と強化を推進し、累計ダウンロード数も180万を突破しました

2011年に休刊したエンタテインメント情報誌『ぴあ』の流れをくみ、エンタテインメントとの“偶然の出会いと発見”を提供するスマートフォンアプリ「ぴあ」は、サービス開始からの4年半で累計180万ダウンロードを突破することができました。

2022年度は、ぴあアプリのサポート隊であるエンタメ通「グランドぴあニスト」制度や、音声や映像でも楽しめるショート動画の視聴機能を導入。さらに映画と音楽ジャンルでは専門性を高めたWeb版サービスもスタートしたほか、株主様にもお楽しみいただける有料会員向けの特典・サービスも拡充されました。「パーソナライズ」をテーマに、今後もエンタメファンの皆様の期待に応えられるよう、一層の「変身」に努めて参ります。

ぴあ株式会社　〒150-0011 東京都渋谷区東1-2-20 渋谷ファーストタワー　TEL.03-5774-5200（大代表）https://corporate.pia.jp/